

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 長岡福祉協会	代表者	田宮崇	法人・ 事業所 の特徴	「自分や家族・友人が利用したいと思うサービスを提供」を法人理念とし、 その人が築き上げてきた暮らしを支える個別支援を行います。 住み慣れた地域、自宅で最後まで安心した生活が送れるよう、「通い」「宿泊」「訪問」 を組み合わせひとりひとりに合わせたサービス調整を行うほか、その時々希望・体 調・生活状況などに考慮した、個別ニーズに合わせ地域の中で柔軟性のある日常生活の 支援を提供します。
事業所名	小規模多機能型居宅 介護アネックス関原	管理者	松田 悠一		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	3人	1人	1人	1人	人	2人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	①自己評価項目毎に担当職員を決め、個々に意識を持ち改善計画に取り組みめるよう配置。 ②毎月のミーティングで改善策取り組みについて、進捗状況の確認と意見交換。 ③事業所の実情に合わせた研修を年間で計画。 ※外部講師や資料を用い内容を充実させる。	①年度初めに担当職員を振り分け個々に意識を持ち改善計画に取り組みめるように配置。 ②ミーティングでは他の議題も多く、意見交換までできないこともあった。 ③事業所の実情に合わせて年間計画通りに実行した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>改善計画について具体的に建てられていると思う。実施状況の確認もしやすい内容になっている。</li> <li>実際に仕事をしているのは個々の職員で自分なりに改善しようと考え、それに向かって実施しているので立派だと思う。</li> <li>事業所自己評価が低い職員の「できていない」と判断した理由を拾っていくことが大切。</li> </ul>	①毎月の自己評価のミーティングを実施し改善策取り組みについて、進捗状況の確認と意見交換。
B. 事業所の しつらえ・環境	①季節に合わせた装飾や居心地の良い空間を利用者と共に検討し、一緒に作り上げる。 ②地域住民との連携を深め、地域の皆様の作品を展示するなど、地域の「憩いの場」としての環境を整える。 ③テラスの活用等から、地域の方の意見を確認。 ※可能な限り、飾り付けやしつらえについて地域の方からも協力を得る。	①ご利用者と一緒に装飾を作り展示、テーブルの配置などのレイアウトも確認しながら一緒に作り上げた。 ②テラスでのお茶会で地域の方が作品を持ってきて下さり、一緒に展示するなど環境を整えた。 ③テラスに来られた方にアンケートを実施。意見を取り入れながら飾り付けを行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご利用者の表情が良かったり他者を気遣う場面も見られとても居心地よく過ごしていると感じる。</li> <li>テラスの環境について、「気軽に立ち寄りやすい、覗きやすい」雰囲気を感じる。</li> <li>ご利用居心地が良い空間の演出ができていると思う。</li> <li>日中、鍵が開いていることは防犯面では怖い。不審者対応マニュアルがあると良い。</li> </ul>	①引き続き地域住民との連携を深め、地域の皆様の作品を展示するなど、地域の「憩いの場」としての環境を整える。

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>①個々職員の希望や特性に合わせて、地域行事（クリーン作戦・花いっぱい運動・小学校介護体験教室など）への参加を計画。 ②地域行事参加から得た、情報や意見を纏め全職員への周知。 ③地域・事業所相互で作品展示などを企画し交流を深める。 ※今年度は、管理者主体に計画</p>	<p>①クリーン作戦や花いっぱい運動は継続して参加。今年度は小学校で認知症サポーター養成講座や介護体験教室にも参加。 ②活動から得た情報はミーティングで職員に周知した。 ③事業所に地域の方の作品展示をし交流を深めることができた。</p>	<p>・看板の設置やテラスの活用方法を地域の方と考えるなど関わりを意識して活動している。 ・地域の皆様にもっと知ってもらうためのアピール方法を包括も一緒に考えたい。 ・民生委員も交代したので民生委員に向けた話をしても良い。 ・事業所のある町内しか回覧板が回っていないのもっと広い範囲に回しても良い。</p>	<p>①職員と特性に合わせて、クリーン作成や花いっぱい運動、文化祭や祭り、小学校体験教室などへの参加を計画。 ②民児協の集まりで民生委員に向けてアネックス関原の紹介を実施。 ③年3回（4月・7月・1月）関原の小中学校区に広報誌を発行する。</p>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>①コミセンでの活動への参加。（茶話会、サークルなど） ②地域のお店や資源を活用したサービス提供。 ※買い物支援やアクティブ（行事など）で使用。必要に応じケアプランに位置付け</p>	<p>①コミセンのお茶会に参加。介護保険の話をするなど交流することができた。 ②ケアプランにいつも買い物に行っているお店や馴染みのお店などを位置付け、お店に行くことができた。</p>	<p>・ケアプランは誰のプランなのかわかるようにと言われている。わかるプランになっている。 ・希望がわかりにくいご利用者もいるがしっかり情報を集めることで社会資源の活用を盛り込んだケアプランにしていけると良い。 ・引き続きご利用者一人ひとりの思いや意思の把握に努め、その人らしく在宅生活が継続できるよう関わりをお願いしたい。</p>	<p>①地域との関わりや日常生活について情報収集しタブレットを使い共有。担当職員を中心に日々のケアに取り入れていく。 ②ドライブ等外出の際には、行き先をご利用者と一緒に考え、馴染みのある場所を提案し、ご利用者が懐かしさや楽しみが持てるような計画にする。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>①運営推進会議での、意見やアドバイスを職員と共有。 ②各種支援状況（事故報告・困難事例・地域課題・研修内容など）を報告し、事業所の情報を共有し多角的な意見交換。 ③運営推進会議を事業所の行事や研修（避難訓練など）に充てたり、管理者以外の職員を参加させる。</p>	<p>①運営推進会議での意見やアドバイスをミーティング時に伝え職員と共有。 ②事業所の運営状況を報告し、様々な立場の構成員から意見をいただき、検討することができた。 ③事業所の避難訓練を運営推進会議時に実施。管理者以外の職員も会議へ参加できるように調整した。</p>	<p>・年間を通じ計画されていて、事業所の取り組みをいつも説明してもらっている。 ・会議で毎回改善計画の取り組みについて報告されているのでわかりやすい。 ・地域との交流については構成員の意見も参考にしながら取り組まれている。</p>	<p>①会議前に職員に資料を配布。会議で意見やアドバイスをもらいたいことについて検討する。 ②職員が書記として参加 ③運営推進会議の際にサービス評価総括表の取り組みについて報告し意見をもらい職員と共有。</p>

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>①地域の避難訓練への参加。 ②事業所の災害時活用方法の周知。 ※囲炉裏を活用した行事を企画。地域の方に暖が取れ一時的に避難することができる場所になることを周知。 ③地域住民参加型の避難訓練実施。(避難訓練 2 回/年)</p>	<p>①地域の避難訓練には管理者が参加。 ②5 月に焼き芋大会を実施。地域の方 10 名が参加され、一時的に避難することができる場所として周知した。 また、コミセンで行われた地域福祉懇談会でも町内会長や民生委員に向けて周知することができた。 ③運営推進会議時に避難訓練を実施。見学していただいた。地域住民の参加に関しては3月の避難訓練時に近所の方へ声掛けを実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・急に近所の方に事業所の防災への参加のお願いは難しいので町内会長や民生委員には防災計画を渡しておいても良いのではないかと。</li> <li>・町内会長の許可がもらえるのであれば自動通報装置に登録させてもらっても良いのではないかと。</li> <li>・近隣（特に事業所の両隣）には夜間火が見えたらここに連絡してほしいと連絡先を渡しておいても良いのではないかと。</li> <li>・日々の様々な場面を想定した職員の動きの確認も、突然の災害の備えになると思う。引き続き防災対策に努めてほしい。</li> </ul>	<p>①防災係を中心に地域の避難訓練への参加。 ②町内会長や民生委員に防災計画を配布し、災害時協力できる体制の構築を図る。 また、近隣に夜間の火災時の連絡先を配布しておく。 ③住民参加型の避難訓練の継続。 訓練後には様々な場面を想定した職員の動きを確認するための机上訓練を実施。</p>
----------------------------	--	---	--	---